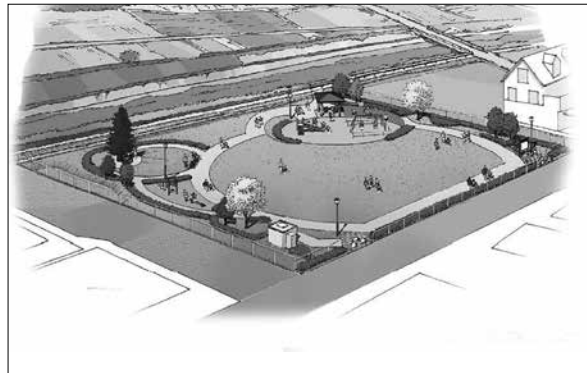


平成30年度予算に見る主要事業

都市環境分野・・・

都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

- ◆地球温暖化対策の一環として、市民が行う蓄電・充電システムの設置費用を一部補助。
- ◆青山斎園霊堂の2階に納骨堂を増設し、市民の需要に対応できる環境を整備。
- ◆井ヶ谷町に新たに公園を整備し、地域住民の憩いの場を提供。(茶屋川公園)

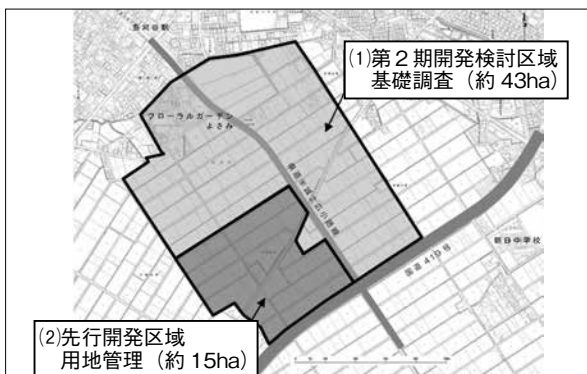


子どもの遊び場、高齢者の健康増進の場に
(茶屋川公園イメージパース)

産業振興分野・・・

人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり

- ◆特定求職者雇用開発助成金の支給決定を受けた市内の事業所に対し、雇用に係る費用を補助。
- ◆市内の事業所を勤務地とする中小企業の経営者・従業員が対象の研修を受講した場合の費用補助。
- ◆工業系拡大市街地である刈谷依佐美地区の基礎調査、用地管理を行い、企業立地を推進。



刈谷依佐美地区第2期開発検討のための基礎調査

- ◆(仮称)刈谷スマートインターチェンジの整備に合わせた周辺道路の一体的な整備。
- ◆ユニバーサルデザインタクシーを購入するタクシー事業者に対し、車両購入費用を一部補助。
- ◆刈谷駅北地区に商業施設や住宅、観光案内などが複合した施設を整備する民間事業者を支援。



多様な駅前機能の充実を図る
(刈谷駅北地区のイメージパース)

福祉安全分野・・・

支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

- ◆富士松北、小高原、朝日幼稚園の預かり保育の時間を拡張。(早朝・延長区分を新設)
- ◆自主防災会に対し、防災施設整備、防災資器材整備、防災活動に要する経費の補助を拡充。
- ◆事前登録者にQRコード付シールを配布し、行方不明高齢者などに対する情報提供体制を強化。



刈谷市メール配信サービス上に
SOSネットワークのカテゴリを追加

教育文化分野・・・

生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

- ◆全小学校の普通教室に空調設備を設置することにより、暑さ対策を強化し、児童の安全を確保。
- ◆市民のスポーツ需要への対応のため、老朽化した刈谷球場のスコアボードの改修の実施設。
- ◆市内外の人が刈谷の歴史や文化財について学ぶことのできる歴史博物館を開館。

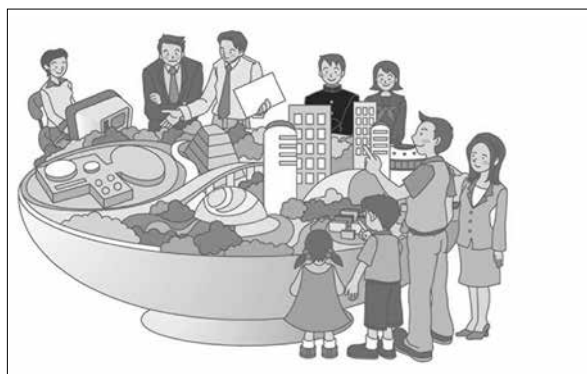


刈谷市の歴史に親しむ学べることのできる拠点
(歴史博物館のイメージパース)

計画推進分野・・・

市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

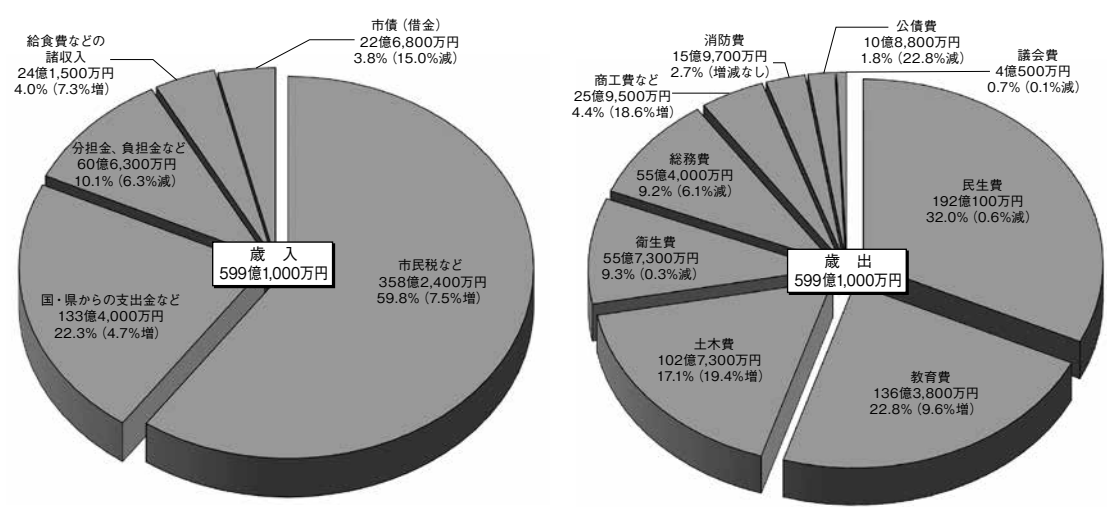
- ◆刈谷駅南口広場、市役所本庁舎、刈谷ハイウェイオアシスなどに無料Wi-Fi環境を整備。
- ◆スマートフォン向けアプリを開発し、市政情報や緊急情報などを効果的に提供。
- ◆社会情勢や市民ニーズを反映し、新たなまちづくりの指針となる第8次総合計画の策定に着手。



刈谷市の最上位の行政計画を策定へ

一般会計の内訳

()内は対前年度比



〈国・県からの支出金などの内訳〉国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金

〈分損金、負担金などの内訳〉分損金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金(商工費などの内訳) 労働費、農林水産費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費

(注)金額は百万円単位、割合は小数点以下第一位で四捨五入などしているため、総額や割合と一致していない場合があります。

30年度予算の総額

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	929億8,600万円	14億3,600万円	1.6%
一般会計	599億1,000万円	24億6,000万円	4.3%
特別会計	229億700万円	▲9億2,900万円	▲3.9%
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	7億4,400万円	2億3,400万円	45.9%
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億800万円	▲900万円	▲7.6%
国民健康保険	120億1,400万円	▲17億円	▲12.4%
後期高齢者医療	18億1,200万円	1億5,700万円	9.5%
介護保険	82億3,000万円	3億8,900万円	5.0%
企業会計	101億6,900万円	▲9,500万円	▲0.9%
水道事業	39億1,800万円	9,700万円	2.5%
下水道事業	62億5,200万円	▲1億9,200万円	▲3.0%

※百万円単位で四捨五入しています

平成30年度予算関係

平成30年度予算は、本会議での質問・質疑に続き、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、各分科会で審査されました。

本会議での質疑

質問・質疑では、市長にその方針を問いました。本会議での質問・質疑については、6〜8ページの「質問・質疑」をご覧ください。

質問・質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査されました。

22日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計の計4議案に反対の意見がありました。採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決されました。

23日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論が行われました。

討論では、刈谷城築城に関する予算が含まれていること、給食費及び放課後児童クラブの利用率の値上げに関する予算が含まれていること、国民健康保険制度の国庫負担金の増額を求める立場であること、後期高齢者医療制度を廃止すべきという立場であること、などにより反対の意見が出されましたが、採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決されました。

「分科会での主な質疑」

- 企画総務
 - 問 第8次刈谷市総合計画策定事業の策定スケジュールは。
 - 答 平成30年度は、人口推計や市民意識調査、第7次計画の達成度調査などの基礎調査を実施し、策定に向けた基本的な方向性を検討していく予定である。31年度は、検討組織を立ち上げ計画の素案づくりを進め、32年度は、素案をもとに、パブリックコメントの実施や総合計画審議会での審議を経て、第8次総合計画を策定していきたいと考えている。
 - 問 どのような検討組織で素案づくりを行うっていくのか。
 - 答 職員によるプロジェクトチームや住民会議などの市民参加機会の確保などにより、素案の策定を進めていく予定である。ポータルアプリ情報配信事業
 - 問 アプリのPRをどのように行うのか。
 - 答 刈谷市メール配信サービスなどの登録者にお知らせし、アプリの利用を促す。その他、市公式SNSにより若い世代に情報を拡散することで周知を図っていく。
 - 問 防犯メールもアプリに統合されるのか。
 - 答 従来どおり刈谷市メール配信サービスを継続するが、現在配信されている「防災情報」
- 福祉産業
 - 問 事業の概要は。
 - 答 QRコードが印刷されたシールやラベルを無料で配付した介護者などはそれを徘徊症状のある高齢者などの靴や衣服に貼ることになる。このことで徘徊高齢者を発見した者がQRコードを読み取り、情報を書き込むことが可能となり、迅速な所在確認や安全確保につながっていく。また、刈谷市メール配信サービスに、徘徊者に関するカテゴリを新たに設け、広範囲にわたり協力を呼びかけていく。
 - 問 対象者の要件及び人数、並びに登録者数は。
 - 答 対象者は、介護保険法に基づき要介護認定または要支援認定の有無にかかわらず、認知症の疑いのある65歳以上の者や、若年性認知症の者になる。徘徊の恐れのある認知高齢者数は180人程度と推測される。現在の登録者数は41人である。
- 建設
 - 問 現在の進捗状況と工事における安全対策は。
 - 答 昨年10月に工事に着手し、現在は基礎工事を進めている。工事においては、児童・生徒の通学する時間帯に資材や重機の搬入出をしないルールを設けること、車両の通行ルートを制限すること、また、現場の出入口には交通誘導員を常時配置することなどにより、安全対策に取り組んでいる。
 - 問 今後の工事予定は。
 - 答 平成30年度から本体の躯体の施工に着手し、1年でお



アプリを使ってどこでも投稿

「気象情報」「防犯・学校情報」は、アプリでも受信できるようにする予定である。

問 市民からの投稿機能はどのような内容か。

答 市民が道路の陥没やカーブミラーの不具合などに気付いたとき、位置情報を付けた写真を担当部署に送信できる機能を持たせたい。



甘いおいしい黄色小玉スイカ

農畜産物特産化補助事業

問 地理的表示登録制度の概要及び補助事業の内容は。

答 地理的表示登録制度は、伝統的な生産方法や、生産地の特性が品質などに結びついている産品の名称を知的財産として登録し、保護する制度である。補助事業の内容は、地理的表示登録制度に登録する生産者団体に対し、登録申請に要する費用を補助するものである。

問 登録する予定の農産物は。

答 登録要件などを勘案すると、黄色小玉スイカが適しているのではと考えており、現在、関係団体と調整を行っている。

■建設

問 現在の進捗状況と工事における安全対策は。

答 昨年10月に工事に着手し、現在は基礎工事を進めている。工事においては、児童・生徒の通学する時間帯に資材や重機の搬入出をしないルールを設けること、車両の通行ルートを制限すること、また、現場の出入口には交通誘導員を常時配置することなどにより、安全対策に取り組んでいる。

問 今後の工事予定は。

答 平成30年度から本体の躯体の施工に着手し、1年でお



銀座A B地区のイメージパース

むね20階まで建ちあがる予定である。その後、平成32年3月に工事が完了する予定である。

市街地整備調査推進事業

問 住居系拡大市街地である小垣江北部地区の事業目的は。

答 都市基盤の整備に向けた調査、関係権利者のまちづくり意識の醸成や合意形成を支援し、市街地整備の事業化促進を図るものである。

問 住居系拡大市街地の小垣江北部地区と工業系拡大市街地の依佐美地区では、事業の進捗状況に差があるが、理由は。

答 工業系と住居系では事業手法や規模が異なることから、進捗の違いが出ている。

問 小垣江北部地区の整備完了予定時期は。

答 関係権利者の合意形成とあわせ、整備スケジュールを作成していきたいと考えている。

■市民文教

問 トヨタモーター展開催事業

問 トヨタモーター展を開催する狙いは。

答 トヨタモーターとは、自動車用補助エンジン及びオートバイのブランド名で、戦後間もない頃に、本社と組立工場が現在の神田町にあった。今回の展示会は、戦後の経済復興の中で全国的に人気を博しながら、今日では知る人も少なくなつてし



トヨタモーター刈谷組立工場 1950年頃
(写真提供:名古屋郷土二輪館)

まったトヨタモーターに光を当て、本市の文化や歴史への興味・関心、また、愛着を深めていただくために開催するものである。

問 今後も同様の企画を継続して行っていくのか。

答 平成31年3月に開館予定の歴史博物館などの施設と連携しながら、市民の文化及び教養の向上を図るため、今後も積極的に開催したいと考えている。

中高生の居場所づくり事業

問 事業内容は。

答 毎週火曜日と木曜日の午後4時から9時まで、総合文化センター1階談話コーナーにおいて、中高生が放課後に気軽に立ち寄り、仲間との交流や自主活動などを自由に楽しむ居場所を提供する事業で、「なごみんはあと」の愛称で親しまれている。本事業は、NPOに委託して運営しているが、大学生スタッフを配置し、仲間としての相談を行うピアカウンセリングや自主学習のサポートを行っている。

問 北部地区や南部地区に拡大する方針は。

答 「なごみんはあと」の利用実績、新たな設置に要する担い手の確保、開設場所の選定などについて総合的に判断し、検討していく。